

CONV/RGENCE

コンバージェンス

#2

A LEAGUE OF LEGENDS STORY™



完璧な人生



RIOT FORGE

O'BRYAN • SMITH • WOLFORD • BRIGHTBILL

18
LOOPY
BOWS
22
+

ピルトーヴァー & ゾウン

階層図

ピルトーヴァーとゾウン——この2つの都市は、世界の技術発展を担う中心地である。

地上にあるピルトーヴァーは時計のような正確さで動く、豊かで清潔な夢の都市だ。

その地下にある姉妹都市のゾウンは雑然とした無法地帯であり、住民はそれぞれの夢を自由に追っている。豊かな地上都市の陰で生きるゾウン人は、純粋な意志の力と発明の能力をもって何とか日々の暮らしを送っている。地下都市を覆う化学スモッグの薄闇の中、彼らはより良い暮らしを夢に見て、それを実現しようと奮闘しているのだ。

—ジェイスの作業場

ピルトーヴァー
↑↑↑

プロムナード階層

中層階

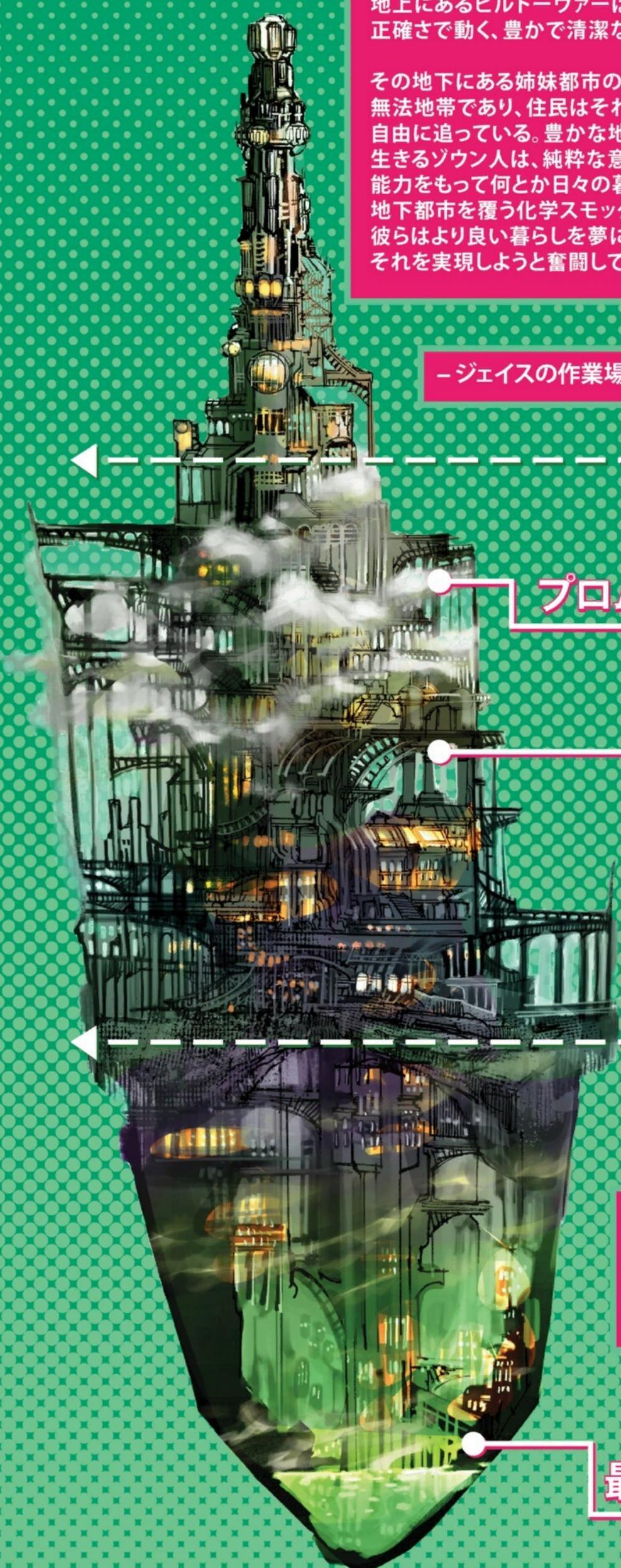
—祝勝祭会場
—ヴァン・クレッグ工業

ゾウン上層
↑↑↑

—エコーのアパート
「ゾウンの迷子たち」
秘密基地
—ビクターの旧研究所

最下層

アート制作:
Eric Canete





エコーはゾウンに住む
ティーンエイジャーの
発明家だ。この都市では
科学技術を使いこなすこと
こそが、明るい将来へと続く
最善の道だとされている。
彼の最高傑作である
「ゼロ・ドライブ」は、
時間を巻き戻すことができる。
つまり、エコーは数秒前の過去を
やり直すことができるのだ。
エコーはこの装置を使って、
人生のあらゆる出来事を
やり直してきた——ちょっとした
ミスから、人生を左右するほど
大きな過ち、その中間のものに
至るまで。

しかし、時間を改変する
ということは、エコーやその家族、
友人たち、そして世界にすら
深刻な影響を及ぼす可能性が
あるのだ…

『コンバージェンス』の前日譚に
あたる本作において、エコーは
タイムトラベルによって得られる
チャンスを諦め、やり直しのきかない
人生を送ることを思い描く。
だが時間に手を出さず、その流れに
身を任せるというのは、想像以上に
難しいことだった…

CONV/RGENCE

コンバージェンス

A LEAGUE OF LEGENDS STORY™

完璧な人生

John O'Bryan

WRITER

Dietrich O. Smith

LAYOUTS

Dietrich O. Smith (1~4話)

Crizam Zamora (5話)

PENCILS

Dietrich O. Smith (1話)

William Wolford (2話、4話)

Crizam Zamora (3話、5話)

INKS

Kyle Brightbill

COLORS

Studio RAM

LETTERING (EU LANGUAGES)

Comcraft's Tyler Smith

LETTERING (NON-EU LANGUAGES)

Corey Lewis

COVER ARTIST

Sabrina Futch

Gate Gary (1話~3話)

EDITORS

Molly Mahan

COMICS NARRATIVE LEAD

Mary Gumport

SPECIAL THANKS



ゾウンの最下層

毎度どうも、
ワイエス。

ケミ溜まりには
気を付けろよ!

ああ、
くそっ

SPLISH

よう、おっさん。
持ってるもん
見せてくれよ?

悪いが
そのつもりは
ない

嫌でも見せて
もらうぜ!

あ!...すまない。
君たちが誰か
見えなかったんだ。
すぐここから
出て——

おいおい、
それで済むと
思ってるのか?

おい!



なんかもめてんのか？

このオッサンに道案内してやってただけさ



後はオレがやる。じゃあな

もっと気を付けるよ 言っとけよ



エコー、こんな所で何してるんだ？

父さんのことを探し回ってたんだ。どうしてマーケットに一人で来ちゃったのさ？



母さんは仕事だ。だが私だって腹は空く。他にどうしろと言うんだ？

そんなことより、見てほしいものがあるんだ。これで全部解決する！



目の身体拡張。これなら父さんを治せる！また目が見えるようになれば、もう心配なんて——

だめだ

そんな——
大丈夫だって。

お金は
必要ない

金持ちのピル公たちに
安全だって伝わるよう、
ゾウン人をタダで
手術してるんだ。
会社の中も案内して
くれて——

ダメだと
言ったろ。手術は
受けない

喜ぶと
思ったんだ。
目が治れば…

確かにな。

だがこれは
私の目だ。私は
自分として生き、
自分として死にたい。
機械としてじゃなく

分かったか？

SPLISH

でも今だってゴロツキから
父さんを救ったろ？
目が見えなきゃ、
ゾウンじゃ暮らして
いけない。父さんに
何か起きて
からじゃ——

何かとは
なんだ？
悪いことか？

いいか、エコー。
それが人生だ

人生を
変えられると
したら？**選ぶ**
としたら？**自分が**
望む生き方が
できるんだよ？

ハハッ。子供だな…
何でも**円滑に**
動く機械だと
思っている。

人生は
時計じかけじゃない。
予想外のことで満ちて
いる。**辛い**ことが起きる
からこそ、**良い**ことが
あったときにその
喜びを味わうことが
できるんだ

それこそが
人間であり、
ゼンマイ人形とは
違うところなんだ

ああ…
そうかもね

ヴァン・クレグ工業
中層階上部

これこそが
人々の望んだもの

まさに大流行だ、
ビクター。誇りに
思うといい

誇らしかったさ、
ヴァン・クレグ。
この技術を生み出した
時はな。

今作っているのは
子供だましの
玩具だ。市民たちは
肉体を棄てず、
ただ飾り付けている

そんなことで
苦痛から
解放されると
思うか？

ビクター……

確かに君は
天才だ。だがそれは
機械の話。人間に
ついてはまるで
分かっていない。

みな、歩く
ガラクタには
なりたくない。

人間らしさを
感じていたい。
誰も…君のような
姿は望んで
いない。

悪く
取らないでくれ

臆病者どもめ。
感情と欲望に捕らわれ、
己の不完全さを
捨てきれずにいる



私は違う。
弱さを力に置き換えた。
機能性を備えた身体に。

私は**光輝なる進化**を示そうとしたのだ…



“ファクトリーウッドで起きた化学物質の流出は覚えているか？
労働者たちは…苦痛の中、ただ**死を待つ**しかなかった…どんな薬をもってしても治療は不可能

…だから私は新しい身体を与えた。彼らを蝕む病から解放する**完璧な器**だ



だが**奴**が現れ、すべてを破壊した”



ジェイスか

ピルトーヴァーの**希望**。英雄と称賛された男。だが奴はあの日、**何百**という人を殺した。彼らを人間とみなさずにな。
人間**以上**の存在だというのに

ああ、
そうだな。君は
誤解されている。
労働者たちを想って
やったことだと私は
知っている。

だが他の
ゾウン人たちは
どうだ…？

彼らが聞いている
のは、君が人々の
脳を取り出し、
ロボットに変えたと
いうことだけだ。

彼らは君を
恐れている

完全さを恐れる
必要がどこにある？事故や
病で死ぬことのない人生。
ゾウンに人間の弱さは
そぐわない。我々は――

なあ、ビク。思い出せ…
君が私と手を組んだ
理由を。なぜ表では
私の名前を使って
いるのか。それは
ゾウンが私を信頼して
いるからだ。

私が今は
おとなしくすべき時だ
と言ったら、君には
その言葉を信じてもらう
必要がある。冷静に
なるんだ。

人々はまだ、
君の主張する**光輝なる進化**、
「**人間性を棄てる**」という
考えを受け入れられない。
分かるだろ？

君には
最高のアイデアが
豊富にある。

必要なのは、
どれが**適切**
じゃないかを見分ける人間だ

エコーのアパート
ゾウン下層

…脚の改造も受ける
つもりはない。
足の爪だろうと、
何だろうとな。
この話は終わりだ。

そうだ。これは
父さんの人生…

…でも何とかして考えを
変えさせなきゃ、短い
人生で終わっちゃう

やるしかないんだ

父さん…

SIZZLE

ゼロ・ドライブを
こういうことに
使うとはな…

VA
DA
DA
DA



またさっきの話か？だめだと
言ったろ

とにかく、
理由を聞いて
ほしいんだ…



FLICKER



ゾウンは
危険な場所だ。
手術すれば安全に
暮らせる

自分のことは
自分で何とか
できる。

この話は
終わりだ

SIZZLE



父さん——
本当にゴメン

断られた。
今の説得じゃ父さんの
考えは変えられない

何のことだ？



時間を
巻き戻して…



…他の説得を
試さないで

VA
DA
DA
DA

数秒巻き戻し(1回目)

…でも、いつかは自分じゃ何ともならなくなる。目が治れば――

だめだ。鉄の塊を入れてまで治すつもりはない。私には家族がいる。他のことについて話さないか？

巻き戻し(5回目)

…じゃあ家族はどうなるの？オレと母さんで全部面倒みなきゃいけないんだよ？

私の父さんが体を悪くした時は、私が面倒をみていた。それが人生だ。

テーブルをセットしてもらえるか？

この話だ

巻き戻し(6回目)

…手術を受けたくないならそれでいい

父さんが働けなくても、オレと母さんでその分をカバーできるはずだ。その――父さんがじいちゃんにしてみたいに

いや。その必要はない。ただ…目が見えないだけだ。まだ…自分で何とかできる

オレたちでカバーするよ。母さんはシフトを増やして、オレもケミ長者のところで働く

だめだ…そんなことは望んでない

SIZZLE

父さんには幸せでいてほしいんだ。目の身体拡張をしたくないなら――

いや、大丈夫だ。その…手術を受けるよ

これで答えは見つかった

分かったよ。父さんがそれでいいなら

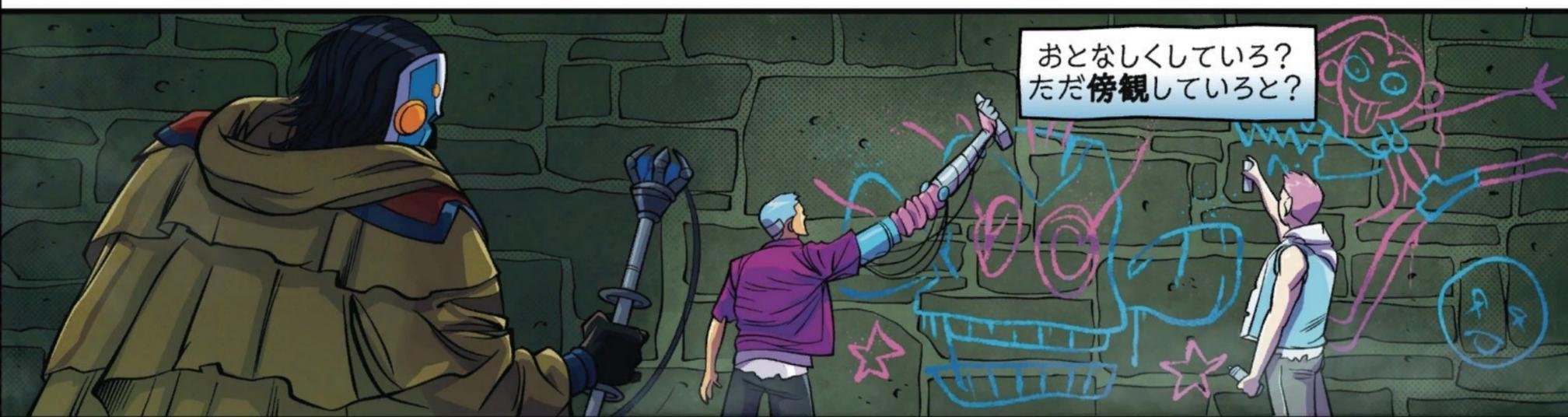
あとはオレが恥のない生き方を見つけるだけだ

ヴァン・クレグ工業

2日後



これが私の
すべきことか？



おとなしくしている？
ただ傍観している？



人生を賭けた作品が
もてはやされ、
一時の流行と
なっている様をか？

子供の玩具として…



愚か者の
教義として



そこの君！
兄弟よ！

光輝なる
進化の吉報を
耳にしたことは
ないかね？



貴様らは
光輝なる進化
のことを何も
分かっていない

進化せし
兄弟よ。偉大なる
ビクター様は必ずや
帰還なされる!



影の中から
立ち上がり、
約束を
果たされるのだ。

人類を
完全なる
姿に——

違う



ZZZZ

うわあ!



そんなことは
しない。

貴様らのような
奴が進化の結果だというなら、
ビクターは完全に
しくじったのだ。

貴様らは
完全体ではない。
惨めな奴め



リーダーだけでなく、
予言者様まで
愚弄するか!

教えてやる。
我らこそ
完全体!



見せてみる。

貴様らのどこが
完全なのか

WOOSH

あ、あなたは...
予言者様。

ついに...
戻られたのだ

ありがたや...
ありがたや...

顔を上げろ。私は
予言者ではない。

我が展望は
無価値な言葉に
収まるものでは
ないのだ

お許しを...
ですが、あなた様の
展望は偉大な
結果を残され
ました。

ぜひ...我々が
造ったものを
ご覧ください

迷子たちの秘密基地
ゾン下層

あら、やっと
戻ってきた

どこに行ってたの？
レムとチャンシーが
すごい発明するのに、
あなたの頭脳を
借りたいんだって

悪い。
家の用事で
バタついててさ

父さんの信頼

もう心配ないぜ。
オレたちアーティストで、
エコーにもっと
楽しませようって
決めたんだ

そうそう。これからは、
ゼロ・ドライブで
オレたちを助けなくても
いいように

この新しいスーパー装備が
完成すれば、自分たちで
何だってできるように
なるからね！

仲間の信頼

見てよ…オレの
作った壁を登れる
パルクールブーツ！

…まだ、
ただのブーツ
だけどね

アタシのはロケット付き
ニーパッド！

まあ…こっちはまだ、
ただのニーパッドだけだ。
けど、エコーが来てくれて
助かったよ。ロケットの
作り方は分かるでしょ？

こいつらは
オレを目指してる

おいおい、
そいつは…
おもしろえ
アイデアだな

でも皆は
知らない…

気に入らなかった？

いや、違って…
そうだな、まずブーツで
壁を登りたいなら、
めちゃくちゃ強力な
粘着剤が必要になる。

それから
ニーロケットだけど、
間違いなく**顔面**から
地面に突っ込む
ことになる。

信じてくれ——
どんな結果になるのか
理解しないまま、
体に**機械**を付ける
べきじゃ——

SLAM

この**改造**、
見てくれよ!

スキッド?

マジかよ

その頭、
どうしたの?

ちょっとした、
アップグレードさ。
あのヴァン・クレグ
っておっさんが**タダ**で
やってくれたんだ!

いや…マズいって。
スキッド、**前の**
頭のままで問題
なかっただろ?



前も悪くは
なかったぜ…
頭突きで敵を
ボコボコにするのが
好きじゃない
ならな

スキッド、
大した理由なしに
改造なんて
しちゃダメだ。

人生っていうのは…
円滑に動く機械
じゃない。欠点がある
もんなんだ。それが
人間らしさの——



じゃあ、エコーは
どうなんだよ？
な、何か失敗しても、
ゼロ・ドライブで
時間を戻して
結果を変える
じゃないか



ハハッ！今もこの会話を
巻き戻して、うまい反論を
考えられたらって
思ってるんだろ？

やめなよ、スキッド。
エコーはそんな
安っぽいこと
絶対にしない。
ゼロ・ドライブを使うのは
ホントに必要な時だけ
って約束したものだ。

オレの欠点…オレは
人生を、仲間を、父さんを
コントロールしてる…

そうでしょ、
エコー？



これがある限り、
オレは皆を
失望させ続ける
ことになる



エコー…
どこに
行くの？



とにかく——この
テーブルを頭突きで
ぶっ壊すところ
見たい奴は？

見たい！

光輝なる進化の共同体
ゾン下層

ここは…
私の研究所が
あった場所だ

はい。その跡地に、我らの
楽園を建てたのです。
皆、この素晴らしい日を
待ち望んでいました

こんなものは
狂気にすぎん

狂気では
ございません。
我々は
あなた様の
進歩に従ったまで

ご覧ください、
予言者様。我らは
肉の体を脱却し、
真の完全体と
なったのです。

ここには病も、
飢えも、失敗も
ありません。

あなた様が
思い描いた、
完璧な——

どこが
完璧なものか。

我が展望は——愚かな
夢でしかなかった。
これでは、**恐怖と
自由**が勝ってしまう。
**真の完璧さとは
決して——**

KABOOOM

薬品パイプの
爆発か——
数週間は
燃え続ける
だろう。

避難しなくては

ご自分の展望を
もっと広めるべきです、
ビクター様。
ご覧ください…



WWUHHWW

WWUHHWWWWUHHWW

“私が作った
送信機か...”



“その通りです、我が主よ。
がれきの中から回収した、
あなた様の最も崇高なる
発明品の一つ”



“この装置が彼らを一つにまとめ、
同じ目標に向かって動かしているのです。
皆、自らの身体を顧みることなく、
鎮火にあたっています...”



“...たとえ死ぬことになろうとも”

“美しかった。正確で、
恐れを知らず...”



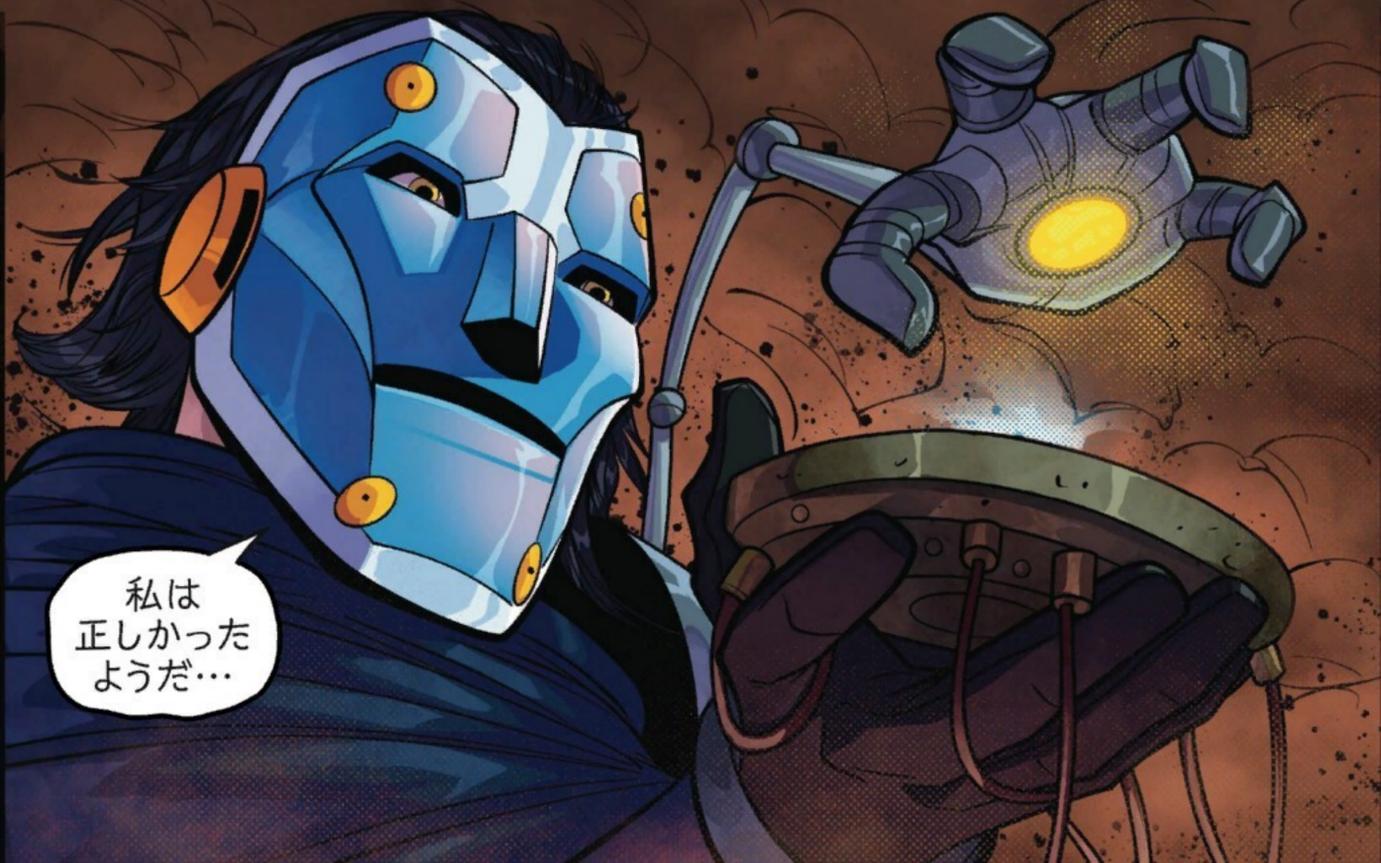
まさに完璧だ。

よくぞ
やってくれた

いえ、これは
あなた様の功績、
偉大なる展望の
結果です



今こそ、
展望を果たす
時です



私は
正しかった
ようだ…

“完全体は
夢ではなかった



…これが実現
されるならば…



Woosh



…何者も私に
歯向かうことは
できなくなる”



続く…